



～ たくましく 感謝(かんしゃ)の心をもち 真剣(しんけん)に 学(まな)び合う 高島っ子 ～

高島小中学校だより



5つのお願い: 2 寒さ、考え、行動しよう

第21号 令和5年1月25日

校長 谷坂利浩

[週明けの最強寒波到来から]

先週末より「24日(火)午後から25日(水)にかけて「10年に1度」と言われる最強寒波が全国にやってくる」と警戒するよう呼び掛けるニュースを耳にしていました。確かに水曜日の天気図は西高東低冬型の気圧配置で等圧線の間隔も狭く寒くなるかなと思いつつも、長崎では雪は降ってもそこまでは・・・と高をくくっていました。現に明けた23日(月)は春というより初夏を感じさせるほどの暖かな日差し。

ところが、前日の24日(火)の島内吹き荒れる強風の凄さ。簡易風速計で測定すると、四方八方から吹く風は平均で6m/秒、瞬間で11m/秒強の風でした。高速船も1日欠航。臨時休校も頭をよぎりましたが、調理員さんたちの対応で給食のめども立ち、授業を行うことができました。朝からの対応、ありがとうございました。

そして、午後からはさらに強まる強風と降雪の様子から、水曜日はさすがに臨時休校を考えなければと思い、朝を迎えたところ、これまた予想に反して、積雪はあったものの穏やかな風の朝。無事、通常登校で学校を開けることができる喜びを感じたところでした。

光町方面からの子どもたちはバスが運休していたため、途中、階段の凍結が心配とのことで、一緒に登ってきましたが、子どもたちは、寒さなんか何のその、雪に大はしゃぎ、「これは猫の足跡かな、イノシシの足跡はないかな、カラスの足跡はあったよ」といいながら、「冷たい、冷たい」と言いながらも手袋を外して雪を握りしめる姿、**さすが、子どもは風の子、寒さなんてへっちゃら**と、と微笑ましく思ったところです。



子どもにとっては、**雪が降るのはともかくうれしいもの**だったのを思い出した2日間でした。



[パラバドスクールキャラバン in 長崎 を受講して]

「様々な事業・専門家の方々の生の授業を受けいろいろなことを学ぼう」の一環で、今回は日本パラバドミントン連盟主催のパラバドミントン体験を受講することができました。スポーツの楽しさや、障がい乗り越える・頑張ることの大切さを感じ、そして**「違いを認め合える」社会を感じる**ことを、目的にされている体験でした。

子どもたち、車いす体験やバドミントン体験と、パラアスリートの方と触れ合える貴重な時間を過ごすことができました。

子どもたち、この体験で、社会の中で、「**ともに生きる、ともに創る、ともに輝く**」という5つのお願い・思いを感じてくれる、意識してくれる、きっかけとなったと思っています。

[今日の給食から]

今月24日から30日は全国学校給食週間に当たります。(本校では行事の関係で先に12月に行いました。)これにちなんで、今週は郷土料理や世界の料理が給食になっています。今日は長崎市の郷土料理「ヒカド」をいただきました。

江戸時代ぐらいに長崎にいたポルトガル人の方々が寒い時期食べていたシチューを長崎風に作ったものだそうです。「ヒカド」はポルトガル語の「**ものを細かく刻む**」という**意味**だそうで、今日の食材は、カツオ、ニンジン、ダイコン、シイタケ、サツマイモで、名前の由来通り、細かく切たつろみのついた汁物、昔と同じ、**和風シチュー**としていただきました。坂本龍馬も食べたでしょう。ごちそうさまでした。

